

いわき市下水道等施設へのウォーターP P P導入基本方針

【ウォーターP P P導入の基本的な考え方と事業の概要】

【参考資料】

令和8年7月21日

いわき市 生活環境部 生活排水対策室



1. ウォーターPPPとは

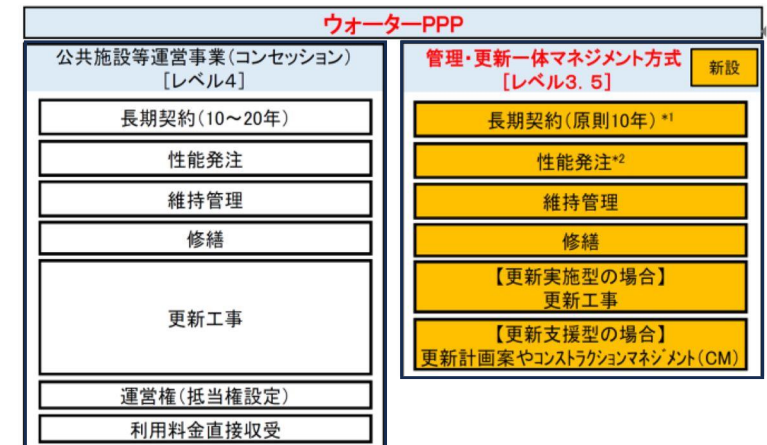
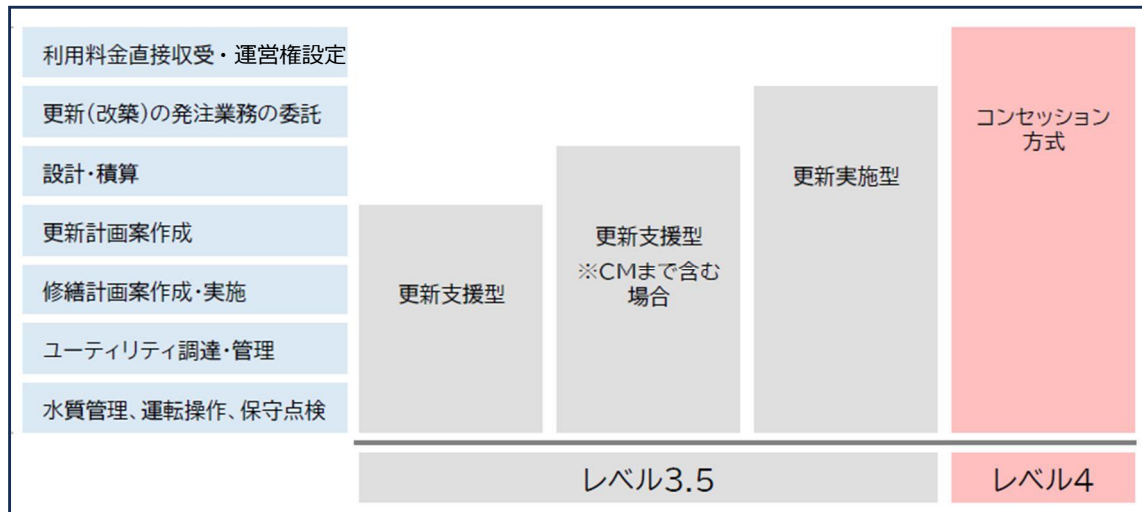


・コンセッション方式【レベル4】

自治体が施設の所有権を保有したまま、施設の運営権を民間事業者に設定する方式。長期契約（10～20年）、性能発注等により更新・維持管理を実施するほか、利用料金直接収受も含む。

・管理・更新一体マネジメント方式【レベル3.5】

施設の運営権は設定せず、長期契約（10年）、性能発注等により、更新・維持管理を実施する民間委託。運営権の設定を必要とせず、コンセッション方式に準ずる効果が期待できる。



出典：内閣府「ウォーターPPPの概要」（R5.6）

出典：下水道分野における「水の官民連携」ガイドライン第3.0版

2. 本市のマーケットサウンディングの実施状況



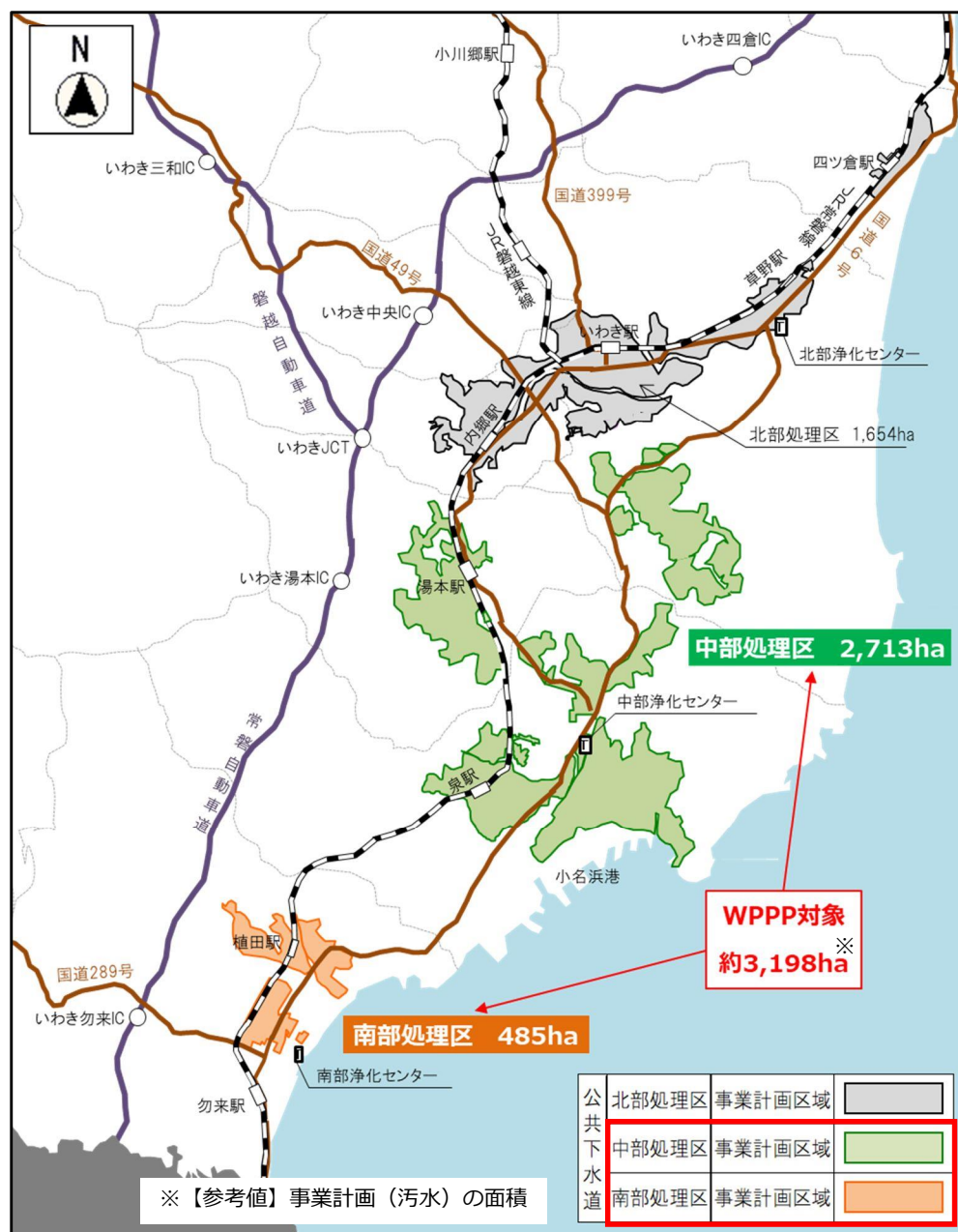
年月日	名称	内容	参加者等
R7.2～R7.3	市内事業者向け 説明会	【説明内容】 ・ WPPPの概要 ・ WPPP導入検討について など	【参加企業】 市内110社
R7.3.31～R7.4.21	第1回 アンケート調査	【アンケート内容】 ・ WPPPへの参加意欲 ・ 導入対象（処理区、施設、業務） ・ バンドリング など	【回答企業】 66社 （市内41社、市外15社）
R7.5.30	第1回 全体説明会	【説明内容】 ・ 事業手法の検討 ・ WPPP導入検討 ・ バンドリングの検討 ・ 第1回アンケート結果 など	【参加企業】 82社144人 （市内65社、市外17社）
R8.3.25	第2回 全体説明会	【説明内容】 ・ 導入にあたっての基本的な考え方 ・ 導入対象（処理区、施設、業務） ・ 業務体制について ・ バンドリングの検討 など	【参加企業】 98社162人 （市内76社、市外22社）
R8.3.25～R8.4.15	第2回 アンケート調査	・ 対象処理区 ・ バンドリングの運転操作業務について ・ 統括管理業務について	【回答企業】 72社 （市内54社、市外18社）

その他、個別対話を実施 16社（市内9社、市外7社）

3. 本市の下水道施設について



(1)事業区域



本市は、14市町村の合併により誕生した市であり、広大な面積を持ち市街地が点在していることから、現在、北部処理区、中部処理区、南部処理区の3処理区で公共下水道の整備を進めている。

 : WPPP対象

3. 本市の下水道施設について

(2) 管渠、マンホールポンプ

令和8年3月現在の管渠の管理状況

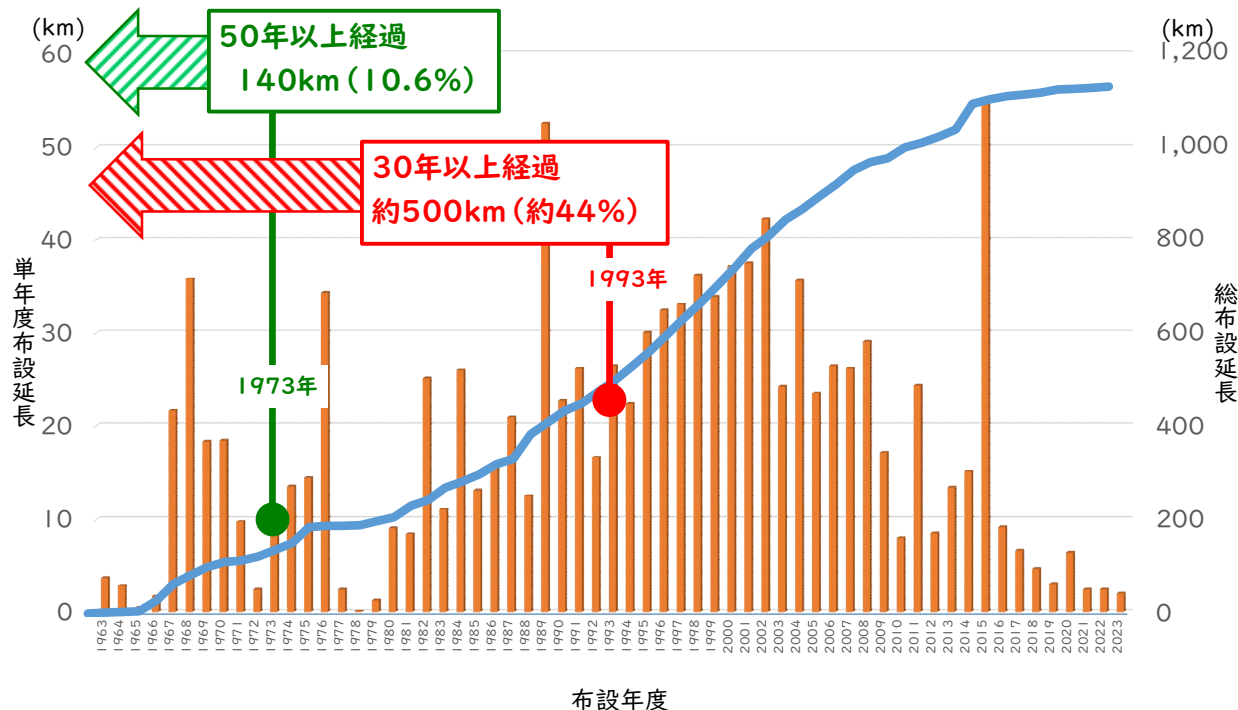
項目	汚水管	雨水管	合流管	計
北部処理区	286,219m	27,114m	87,306m	400,639m
中部処理区	467,807m	107,509m	38,171m	613,487m
南部処理区	107,553m	11,606m	-	119,159m
計	861,579m	146,229m	125,477m	1,133,285m

中部処理区 : WPPP対象

マンホールポンプ

項目	北部処理区	中部処理区	南部処理区	計
マンホールポンプ	19基	10基	4基	33基

※都市下水路事業で整備し公共下水道に編入したもの(24,016m)を含む
表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の計が合計と一致しない場合がある



標準的な耐用年数とされる50年を経過する管路は
令和5年度末時点で140km、全体の10.6%から
今後急速に増加し、
20年後には約500km、約44%に達します。

3. 本市の下水道施設について



(3)ポンプ場(52施設)・処理場(3施設)

 : WPPP対象

		北部処理区	中部処理区	南部処理区	計
ポンプ場 (箇所)	雨水	12	13	10	35
	汚水	2	6	1	9
	汚水雨水併設	5	3		8

	北部処理区 北部浄化センター	中部処理区 中部浄化センター※	南部処理区 南部浄化センター
排除方式	合流・分流	分流（一部合流）	分流
供用開始	合流 S49.5 分流 H元.5	S61.11	H8.4
水処理方式	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法
汚泥処理方式	濃縮－脱水 －燃料化 (中部浄化センターに集約)	濃縮－消化－脱水 －燃料化	濃縮－脱水 －燃料化 (中部浄化センターに集約)
処理能力 (現有) R5年度末	合流 10,500 m ³ /日 分流 29,600 m ³ /日	42,000 m ³ /日	8,700 m ³ /日

※いわき市下水汚泥等利活用事業 維持管理・運營業務委託契約の対象施設は、WPPP の検討対象から除く。

4. バンドリング施設について



: バンドリング対象

【地域汚水処理事業】

施設名	勿来白米 地域汚水 処理施設	石 森 地域汚水 処理施設	南 台 地域汚水 処理施設	草木台 地域汚水 処理施設	洋向台 地域汚水 処理施設
所在地	勿来町白米 林ノ中 30-345	石森一丁目 1-15	南台二丁目 48	草木台二丁目 23-13	洋向台五丁目 27-40
敷地面積	1,362 m ²	1,524 m ²	3,576 m ²	6,841 m ²	3,297 m ²
供用年月	昭和 53 年 12 月	昭和 61 年 3 月	平成 5 年 8 月	平成 2 年 10 月	昭和 58 年 9 月
帰属年月	平成 2 年 5 月	平成 9 年 4 月	平成 15 年 4 月	平成 15 年 4 月	平成 16 年 4 月
計 画	処理面積	21.0 ha	39.7 ha	140.4 ha	38.4 ha
	処理人口	2,000 人	2,348 人	2,294 人	2,600 人
	計画戸数	360 戸	587 戸	569 戸	652 戸
	処理水量	1,040 m ³ /日	950 m ³ /日	1,015 m ³ /日	1,040 m ³ /日
実 績	処理面積	21.0 ha	39.7 ha	140.4 ha	38.4 ha
	処理人口	906 人	1,290 人	1,231 人	1,058 人
	接続人口	906 人	1,290 人	1,231 人	1,058 人
	接続戸数	345 戸	561 戸	496 戸	631 戸
実 績	処理水量	287.6 m ³ /日	320.7 m ³ /日	323.5 m ³ /日	533.0 m ³ /日
	処理方式	長時間曝気	長時間曝気	長時間曝気	接触曝気 (FCR 法)
	放流先	蛭田川	夏井川	鮫川	藤原川
	管渠延長	8,579 m	7,899 m	21,083 m	11,144 m

【農業集落排水事業】

施設名	下小川地区 農業集落排水 処理施設	戸田地区 農業集落排水 処理施設	永井地区 農業集落排水 処理施設	三坂地区 農業集落排水 処理施設	渡辺地区 農業集落排水 処理施設	遠野地区 農業集落排水 処理施設
所在地	小川町下小川 字小沢口 150	四倉町戸田 字古川 218	三和町下永井 字峰岸 13	三和町下三坂 字下ノ里 52-1	渡辺町松小屋 字榎株 121	遠野町滝字 中川原 2-2
敷地面積	1,907 m ²	1,482 m ²	1,381 m ²	1,657 m ²	1,422 m ²	2,342 m ²
供用年月	平成 14 年 4 月 (平成 13 年 4 月 一部供用)	平成 15 年 4 月 (平成 14 年 4 月 一部供用)	平成 16 年 4 月	平成 19 年 4 月 (平成 17 年 4 月 一部供用)	平成 18 年 4 月	平成 27 年 4 月 (平成 25 年 4 月 一部供用)
計 画	処理面積	90 ha	31 ha	77 ha	185 ha	58 ha
	処理人口	840 人	330 人	550 人	1,080 人	570 人
	計画戸数	191 戸	71 戸	131 戸	252 戸	135 戸
	処理水量	277 m ³ /日	109 m ³ /日	182 m ³ /日	356 m ³ /日	188 m ³ /日
実 績	処理面積	90 ha	31 ha	77 ha	185 ha	58 ha
	処理人口	509 人	230 人	338 人	488 人	409 人
	接続人口	496 人	230 人	330 人	446 人	388 人
	接続戸数	165 戸	69 戸	110 戸	158 戸	127 戸
実 績	処理水量	98.3 m ³ /日	49.0 m ³ /日	78.5 m ³ /日	101.1 m ³ /日	92.1 m ³ /日
	処理方式	嫌気性濾床及び 接触曝気方式	沈殿分離及び 接触曝気方式	嫌気性濾床及び 接触曝気方式	連続流入 間欠曝気方式	嫌気性濾床及び 接触曝気方式
	放流先	夏井川	仁井田川	小玉川	三坂川	釜戸川
	管渠延長	11,567 m	5,343 m	13,683 m	23,308 m	10,896 m

5. 施設の情報（処理場、ポンプ場）

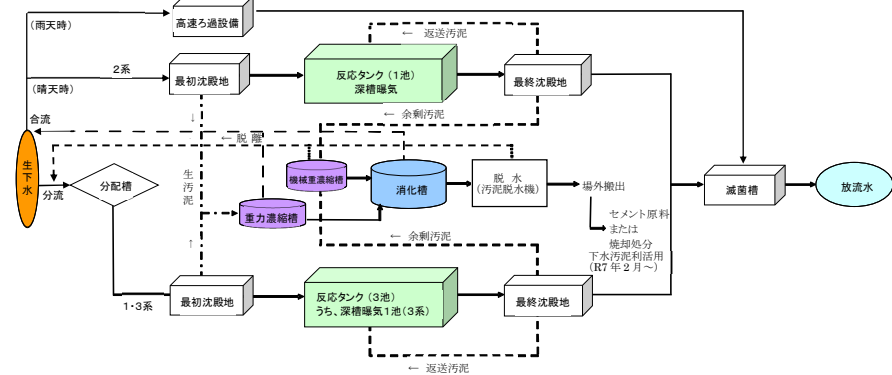
(1) 浄化センターの概要

①北部浄化センター（包括委託）

ア 施設概要

所在地	いわき市平下神谷字天神104-1 TEL (0246) 34-4007
敷地面積	4.65 ha
供用開始	合流運転 昭和49年5月1日 分流運転 平成元年5月1日
施設概要	当センターでは、分流区域から流入した汚水は分配槽に流入した後、2系列で処理され、最終的に塩素滅菌されて夏井川に放流される。また、合流区域から流入した汚水は、晴天時は1系列で処理、雨天時は高速ろ過設備にも流入し、分流と合わせて塩素滅菌された後、夏井川に放流される。 処理方式については、すべて標準活性汚泥法を採用しており、4池ある曝気槽のうち2池は、深槽曝気を採用している。

(処理フロー)



イ 計画諸元

区分		全体計画	事業計画	現有施設(令和7年度末)
処理区域面積		1,654 ha	1,654 ha	1,498 ha
処理人口		54,006 人	58,819 人	54,195 人
計画汚水量	日平均	合 7,000 m ³ /日 分 15,900 m ³ /日	合 7,300 m ³ /日 分 17,400 m ³ /日	
	日最大	合 8,500 m ³ /日 分 19,450 m ³ /日	合 8,800 m ³ /日 分 21,150 m ³ /日	
	時間最大	合 12,400 m ³ /日 分 27,500 m ³ /日	合 12,900 m ³ /日 分 30,000 m ³ /日	
排除方式		合流・分流式	合流・分流式	
処理方式		標準活性汚泥法	標準活性汚泥法	
処理能力		合 8,500 m ³ /日 分 19,450 m ³ /日	合 8,800 m ³ /日 分 21,150 m ³ /日	合 10,500 m ³ /日 分 29,600 m ³ /日
計画水質	流入	合 BOD 213 SS 147 分 BOD 248 SS 184	合 BOD 213 SS 148 分 BOD 251 SS 187	
	放流	BOD 15 SS 5	BOD 15 SS 5	
放流先		夏井川	夏井川	

ウ 主要施設の概要

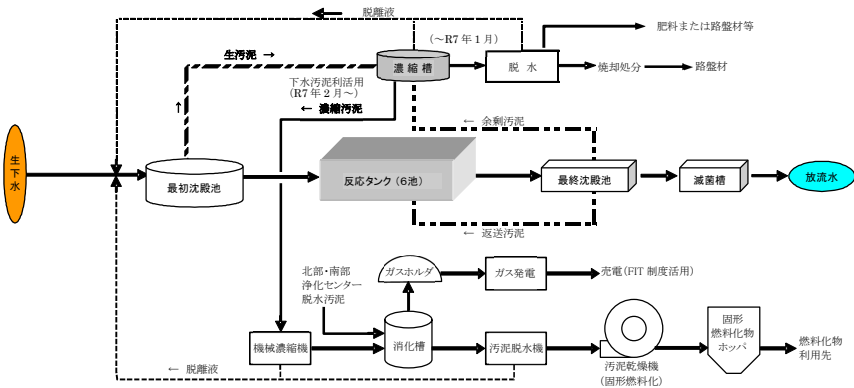
施設名称	形状寸法	施設数			摘要
		全体	事計	現有	
雨水沈砂池	幅5.0m×長18.0m×深2.2m	2池	2池	2池	平行流矩形池
汚水沈砂池	幅2.2m×長15.0m×深1.06m(合流)	2池	2池	2池	平行流矩形池
	幅1.2m×長7.0m×深1.25m(分流)	—	—	2池	
雨水ポンプ	径4.3m×深1.6m(分流)	1池	1池	—	円形池
	φ900mm×110m ³ /分×8.30m×320PS	2台	2台	2台	
汚水ポンプ	φ1,100mm×160m ³ /分×8.30m×450PS	1台	1台	1台	立軸斜流ポンプ
	φ200mm×4.4m ³ /分×11.0m×15kW(合流)	3台	3台	3台	
汚水ポンプ	φ450mm×26.0m ³ /分×12.0m×80kW(合流)	3台	3台	2台	立軸渦巻斜流ポンプ
	φ350mm×8.9m ³ /分×18.5m×55kW(分流)	3台	—	—	
	φ350mm×14.0m ³ /分×18.5m×75kW(分流)	—	2台	2台	
	φ450mm×28.0m ³ /分×18.5m×132kW(分流)	—	1台	1台	
最初沈殿池	幅6.0m×長30.0m×深2.5m	3池	3池	3池	平行流矩形池
	上段 幅4.5m×長30.0m×深2.8m	1池	1池	1池	
	下段 幅4.5m×長35.0m×深2.8m	1池	1池	1池	
	上段 幅5.0m×長24.4m×深3.0m	1池	1池	1池	
反応タンク	幅5.0m×長45.0m×深4.5m×3列	2池	2池	2池	押出流矩形池
	幅3.0m×長45.0m×深10.0m	1池	1池	1池	
送風機	85m ³ /分×170kW	—	3台	3台	多段ブロワ
	60m ³ /分×110kW	3台	—	—	
最終沈殿池	幅6.0m×長38.0m×深2.7m	4池	4池	4池	平行流矩形池
	上段 幅8.0m×長30.0m×深3.0m	1池	1池	1池	
	下段 幅8.0m×長35.0m×深3.0m	1池	1池	1池	
	上段 幅9.7m×長29.0m×深3.5m	2池	1池	1池	
消毒設備	幅2.0m×長25.0m×深2.0m	7列	7列	11列	平行流矩形池(2層式)
	幅2.0m×長25.0m×深2.0m	6列	6列	—	
汚泥濃縮槽	径9.0m×深4.5m	2槽	2槽	2槽	円形重力式
汚泥濃縮機	120kgds/時	—	—	1台	常圧浮上濃縮装置
	100kgds/時	1台	1台	—	
	50kgds/時	1台	1台	—	
汚泥消化タンク	径16.0m×側深6.0m×1槽	2槽	2槽	2槽	嫌気性加温二段消化方式
	径15.0m×側深5.6m×1槽	1槽	2槽	2槽	
汚泥脱水機	375kgds/時	—	—	2台	
	530kgds/時	2台	—	—	
	336kgds/時	—	2台	—	
高速ろ過設備	78,300m ³ ×78m ² ×1,004m/日	1池	1池	1池	

②中部浄化センター（WPPP 対象）

ア 施設概要

所在地	いわき市小名浜大原芳蔭1	TEL (0246) 53-6901
敷地面積	23.7 ha	
供用開始	昭和61年11月	
施設概要	当センターでは、「標準活性汚泥法」を採用しており、塩素滅菌後の処理水は、藤原川に放流される。	

(処理フロー)



イ 計画諸元

区 分		全 体 計 画	事 業 計 画	現有施設 (令和7年度末)
処 理 区 域 面 積		2,713 ha	2,713 ha	2,369 ha
処 理 人 口		89,544 人	99,743 人	94,530 人
計 画 汚水量	日 平 均	39,700 m ³ /日	43,300 m ³ /日	
	日 最 大	46,600 m ³ /日	51,000 m ³ /日	
	時 間 最 大	70,200 m ³ /日	76,600 m ³ /日	
排 除 方 式		合 流 式 分 流 式 (一部合流)		
処 理 方 式		標準活性汚泥法 標準活性汚泥法		
処 理 能 力		46,600 m ³ /日	51,000 m ³ /日	42,000 m ³ /日
計 画 水 質	流 入	BOD 214 SS 163	BOD 214 SS 162	
	放 流	BOD 15 SS 5	BOD 15 SS 5	
放 流 先		藤 原 川	藤 原 川	

ウ 主要施設の概要

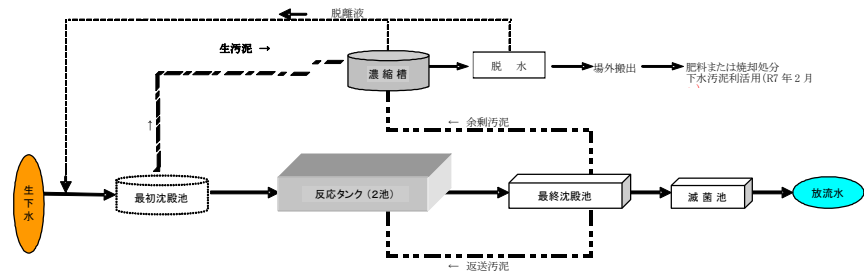
施設名称	形状寸法	施設数			摘要
		全体	事計	現有	
汚水沈砂池	巾2.5m×長15.0m×深0.48m φ350mm×12.5m ³ /分×20.0m×90kW	2池	2池	2池	平行流矩形池
汚水ポンプ	φ350mm×15.8m ³ /分×20.0m×90kW×1 (110kW×3)	5台	5台	4台	立軸斜流渦巻ポンプ
雨水ポンプ	φ3,100mm×247m ³ /分×6.0m×470kW	6台	6台	4台	スクリーポンプ
最初沈殿池	巾24.0m×長24.0m×深2.5m	2池	2池	2池	放射流正方形池
	巾7.5m×長19.0m×深3.0m	3池	3池	2池	平行流矩形池
反応タンク	巾7.5m×長65.2m×深5.0m	4池	4池	4池	押し出し流長方形池
	巾7.5m×長66.0m×深5.0m	3池	3池	2池	
曝気プロワ	110m ³ /分×150kW	—	—	1台	単段プロア
	80m ³ /分×110kW	—	—	1台	
	100m ³ /分×150kVA	—	—	1台	
	40m ³ /分×60kW	—	—	1台	
	100m ³ /分×110kW	4台	4台	—	
最終沈殿池	巾14.7m×長45.0m×深2.6m	2池	2池	2池	平行流矩形池
	巾7.5m×長47.0m×深3.5m	3池	3池	2池	
塩素混和池	巾2.4m×長125.0m×深2.1m	1池	1池	1池	長方形多列迂回流式
汚泥濃縮槽	径8.5m×側深3.0m	1槽	1槽	1槽	円形重力式
汚泥濃縮機	径6.0m×側深3.0m	1槽	1槽	1槽	
汚泥脱水機	30m ³ /時	1台	1台	—	
	270kgs/時	—	—	1台	
	350kgs/時	—	—	1台	
	4.0m ³ /時	4台	4台	—	
汚泥焼却炉	50t/日	2台	2台	1台	流動焼却炉 (休止中)
(汚泥利活用施設)					
機械濃縮機	30m ³ /h	1台	1台	1台	ベルト型ろ過濃縮機
消化槽	高さ21.0m×直径15.9m 容量3,900m ³	2槽	2槽	2槽	鋼板製
ガスホルダ	高さ7.9m×直径16.7m 容量1,000m ³	1槽	1槽	1槽	ダブルメンブレン式
汚泥脱水機	ろ過速度: 60kg-DS/m ² ・h 容量4m ³ /h	4台	4台	4台	高効率ベルトプレス型
汚泥乾燥機 (固形燃料化)	54.8t/日 (27.4t/日×2基) 蒸発水分量: 765kg/h (最大)	2台	2台	2台	円環式気流乾燥機
固形燃料化ホッパ	高さ4.2m×直径2.6m 容量25m ³	1台	1台	1台	鋼板製円筒型ホッパ

② 南部浄化センター（WPPP 対象）

ア 施設概要

所在地	いわき市錦町浜田27
敷地面積	5.5 ha
供用開始	平成 8年 4月
施設概要	当センターでは、「標準活性汚泥法」を採用しており、塩素滅菌後の処理水は、蛭田川に放流される。

(処理フロー)



イ 計画諸元

区分	全体計画	事業計画	現有施設 (令和7年度末)
処理区域面積	485 ha	485 ha	421 ha
処理人口	13,090 人	15,518 人	15,064 人
計画汚水量	日平均	4,900 m ³ /日	5,800 m ³ /日
	日最大	6,000 m ³ /日	7,000 m ³ /日
	時間最大	8,500 m ³ /日	10,000 m ³ /日
排除方式	分流式	分流式	分流式
処理方式	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法
処理能力	6,000 m ³ /日	7,000 m ³ /日	8,700 m ³ /日
計画水質	流入	BOD 243 SS 182	BOD 244 SS 186
	放流	BOD 15 SS 5	BOD 15 SS 5
放流先	蛭田川	蛭田川	蛭田川

ウ 主要施設の概要

施設名称	形状寸法	施設数			摘要
		全体	事計	現有	
汚水沈砂池	巾2.8m×長3.9m×深0.252m	1池	—	—	平行流矩形池
	巾2.8m×長3.9m×深0.246m	—	1池	1池	
汚水ポンプ	φ200mm×3.3m ³ /分×15.0m×15kW	3台	—	—	立軸斜流渦巻ポンプ
	φ200mm×4.6m ³ /分×15.0m×22kW	—	3台	3台	
雨水ポンプ	φ2,800mm×180m ³ /分×240PS	4台	4台	3台	平行流矩形池
最初沈殿池	巾5.0m×長24.5m×深3.0m	2池	2池	2池	
反応タンク	巾6.0m×長14.0m×深3.0m	3池	—	—	押出流矩形池
	巾5.0m×長60.0m×深5.0m	2池	2池	2池	
送風機	巾6.0m×長43.0m×深5.0m	3池	—	—	単段ブロワ
	22m ³ /分×35kW	2台	2台	—	
	48m ³ /分×35kW	1台	1台	—	
最終沈殿池	22m ³ /分×37kW	—	—	2台	平行流矩形池
	巾5.0m×長35.0m×深3.0m	2池	2池	2池	
塩素混和池	巾2.0m×長31.5m×深2.0m	1池	1池	1池	長方形多列迂回流式
汚泥濃縮槽	内径4.0m×水深3.0m	2槽	2槽	2槽	円形重力式
汚泥濃縮機	44.8kgds/時	2台	1台	—	
	φ600mm×80.5kgds/時	2台	1台	1台	
	φ900mm×565kgds/時	—	1台	—	
汚泥脱水機	φ900mm×400kgds/時	—	—	1台	

(2) ポンプ場の概要

①北部処理区 20箇所（包括委託）

名 称	所 在 地	敷地面積 (㎡)	区分	現 有 ポ ン プ 仕 様	放流先	運転開始 年月日
北部浄化 センター場内	平下神谷字天神104-1	45,015	雨水	φ900mm×110m ³ /分×320PS×2台 φ1,100mm×160m ³ /分×450PS×1台	夏井川	昭和49年5月
北白土第一 ポンプ場	平北白土字徳積32	6,099	雨水 汚水	φ900mm×100m ³ /分×240PS×4台 φ350mm×15.0m ³ /分×75kW×5台 (内1台予備)	夏井川 —	昭和49年5月
北白土第二 ポンプ場	平字愛谷町 三丁目7-3	4,000	雨水 汚水	φ1,200mm×200m ³ /分×560PS×5台 φ400mm×18.4m ³ /分×55kW×3台 (内1台予備)	新 川 —	昭和58年4月
手摺ポンプ場	平字城東一丁目 6-5	1,654	雨水 汚水	φ1,200mm×157m ³ /分×200PS×3台 φ200mm×3.59m ³ /分×21kW×3台 (内1台予備)	夏井川 —	昭和63年4月 昭和60年4月
御厩ポンプ場	内郷御厩町四丁目 78	2,634	雨水 汚水	φ2,400mm×102m ³ /分×150kW×1台 φ2,800mm×159m ³ /分×330PS×3台 φ150mm×2.36m ³ /分×11kW×4台 (内1台予備)	新 川 —	昭和58年4月 昭和59年4月
新町前 ポンプ場	内郷御台境町 自在町16-1	1,029	雨水 汚水	φ600mm×70m ³ /分×110kW×1台 φ700mm×58.8m ³ /分×150PS×3台 φ200mm×5.2m ³ /分×15kW×2台 (内1台予備)	新 川 —	昭和49年4月 平成8年4月
泉崎中継 ポンプ場	平泉崎 字砂田6-1	468	汚水	φ150mm×2.8m ³ /分×7.5kW×2台 (内1台予備)	—	平成20年4月
仁井田中継 ポンプ場	四倉町塩木 字道東2	1422	汚水	φ150mm×2.3m ³ /分×7.5kW×2台 (内1台予備)	—	平成20年4月
綴ポンプ場	内郷綴町沼尻81	207	雨水	φ500mm×31m ³ /分×33PS×1台	新 川	昭和48年4月
小島ポンプ場	小島町三丁目1-1	1,183	雨水	φ1,200mm×197m ³ /分×300PS×2台	新 川	平成3年4月
南白土 ポンプ場	平南白土二丁目6-1	3,026	雨水	φ1,200mm×171m ³ /分×250PS×4台	新 川	平成4年4月
北目ポンプ場	平字北目町81-12	220	雨水	φ700mm×55.0m ³ /分×55kW×2台	好間川	平成7年7月
大町ポンプ場	内郷高坂町大町89	4,181	雨水	φ2,800mm×166m ³ /分×480PS×3台	新 川	平成8年4月
上仁井田 ポンプ場	四倉町上仁井田字鰻沼 30-1	2,487	雨水	φ1,200mm×200m ³ /分×350PS×3台	仁井田川	平成11年4月
北一里塚 ポンプ場	平下神谷字石淵48-1	1,835	雨水	φ2,000mm×70.5m ³ /分×74kW×2台	三夜川	平成21年4月
久之浜 ポンプ場	久之浜町久之浜字西町 尻25	1,061	雨水	φ800mm×82.4m ³ /分×45W×2台	小久川	平成30年4月
蜷川第一 ポンプ場	四倉町字四丁目132-8	68	雨水	φ700mm×53m ³ /分×15kW×2台 φ700mm×53m ³ /分×20kW×1台	境 川	昭和40年4月
蜷川第二 ポンプ場	四倉町字東二丁目 172	1,861	雨水	φ800mm×75m ³ /分×170PS×3台 φ800mm×75m ³ /分×125kW×1台	四倉地区海岸	平成3年12月
平南台ポンプ 場	郷ヶ丘四丁目29-6	132	汚水	φ80×1.17m ³ /分×15kW×2台	—	平成10年4月
下平窪ポンプ 場	下平窪字四左エ門内70-3	232	雨水	φ500×30m ³ /分×30kW×1台	夏井川	平成8年4月

その他、マンホールポンプ 19 箇所

①中部処理区 21箇所（WPPP 対象）

名 称	所 在 地	敷地面積 (㎡)	区分	現 有 ポ ン プ 仕 様	放流先	運転開始 年月日
住吉ポンプ場 (中部浄化センター場内)	小名浜大原 字芳原1	237,086	雨水	φ3,100mm×252m ³ /分×760PS×1台 φ3,100mm×240m ³ /分×640PS×3台	藤原川	昭和61年11月
ニュータウン第一 中継ポンプ場	中央台飯野 五丁目5-5	320	汚水	φ150mm×2.3m ³ /分×15kW×2台 (内1台予備)	—	平成3年4月
郷ヶ丘中継 ポンプ場	郷ヶ丘三丁目 52-4	1,401	汚水	φ200mm×2.2m ³ /分×45kW×3台 (内1台予備)	—	平成2年4月
ニュータウン第二 中継ポンプ場	中央台高久三丁目 59-2	193	汚水	φ80mm×0.5m ³ /分×5.5kW×2台 (内1台予備)	—	平成15年6月
林城ポンプ場	小名浜林城 字下高田1-2	4,436	雨水	φ700mm×58.6m ³ /分×70PS×1台 φ1,000mm×117.2m ³ /分×130PS×1台 φ450mm×22.2m ³ /分×18.5kW×1台	矢田川	昭和44年4月
八仙ポンプ場	常磐湯本町八仙 1-49	83	雨水	φ1,200mm×180m ³ /分×130PS×1台 φ1,200mm×180m ³ /分×160PS×1台	湯本川	昭和59年4月
西郷ポンプ場	常磐西郷町銭田 108-1	1,160	雨水	φ2,200mm×82m ³ /分×100kW×2台	藤原川	平成19年4月
大原ポンプ場	小名浜大原 字富岡前69	1,710	雨水	φ1,100mm×182m ³ /分×200PS×1台 φ1,200mm×184m ³ /分×272PS×2台	藤原川	昭和47年4月
御代ポンプ場	鹿島町御代 字柿境52	2,282	雨水	φ2,800mm×150m ³ /分×300PS×3台	矢田川	平成6年4月
芳川ポンプ場	泉町滝尻字松原 133	1,114	雨水	φ1,000mm×150m ³ /分×122kW×2台	藤原川	昭和50年4月
南富岡ポンプ場	小名浜南富岡 字中前45-5	650	雨水	φ1,000mm×130m ³ /分×225PS×1台 φ600mm×45m ³ /分×70PS×1台	藤原川	昭和48年4月
船戸ポンプ場	鹿島町久保 三丁目4-1	1,498	雨水	φ1,000mm×195m ³ /分×180kW×2台	矢田川	平成22年4月
東部ポンプ場	小名浜字吹松 18-1	23,050	合流	φ350mm×15m ³ /分×55kW×2台 (内1台予備)	—	令和5年8月
			雨水	φ700mm×60m ³ /分×175PS×2台 φ800mm×85m ³ /分×200PS×1台	藤原川	昭和44年10月
			雨水	φ1,000mm×145m ³ /分×470PS×2台 φ1,000mm×151m ³ /分×441PS×2台		昭和60年9月
平蔵塚ポンプ場	小名浜字平蔵塚 89-2	3,972	雨水	φ1,000mm×130m ³ /分×310PS×4台	藤原川	昭和49年4月
			汚水	φ300mm×9.24m ³ /分×18.5kW×2台 (内1台予備) φ350mm×12.9m ³ /分×20kW×1台	—	
小名川ポンプ場	小名浜字元分	水路敷	雨水	φ3,200mm×272m ³ /分×450PS×4台	小名浜港	昭和53年4月
			汚水	φ150mm×2.31m ³ /分×11kW×2台 (内1台予備) φ100mm×1.11m ³ /分×5.5kW×1台	—	昭和55年4月
元川中継ポンプ場	小名浜字定西 210-1	444	汚水	φ250mm×8.0m ³ /分×18.5kW×3台 (内1台予備)	—	昭和44年10月
若葉台中継ポンプ場	若葉台一丁目30-15	42	汚水	φ80×0.1m ³ /分×3.7kW×2台	—	昭和51年6月
野田ポンプ場	小名浜野田字北坪 15-12	70	雨水	φ200×5m ³ /分×37kW×1台	藤原川	昭和52年10月
本谷ポンプ場	泉町本谷字磐井沢 63-3	569	雨水	φ400×19m ³ /分×32PS×1台 φ800×76m ³ /分×80PS×1台	藤原川	昭和58年3月
島ポンプ場	小名浜島字高田町 44-6	533	雨水	φ400×16m ³ /分×15kW×1台 φ400×18m ³ /分×30kW×1台	藤原川	昭和42年4月
下船尾ポンプ場	常磐下船尾町字村山	533	雨水	φ500×30×30kW×1 (水中)	藤原川	平成4年6月

その他、マンホールポンプ 10 箇所

②南部処理区 11箇所（WPPP 対象）

名 称	所 在 地	敷地面積 (㎡)	区分	現 有 ポ ン プ 仕 様	放流先	運転開始 年月日
南部浄化 センター場内	錦町浜田27	55,247	雨水	φ 2,800mm×180㎡/分×240PS×3台	蛭田川	平成9年4月
植田中継ポンプ場	植田町本町一丁目12	公園 敷地内	汚水	φ 250mm×7.0㎡/分×30kW×2台（内1台予 備）	—	平成12年4月
植田第一ポンプ場	植田町本町三丁目12- 1	619	雨水	φ 600mm×39.6㎡/分×50PS×2台	渋 川	昭和38年4月
植田第二ポンプ場	植田町中央三丁目7-4	665	雨水	φ 1,000mm×116.1㎡/分×120PS×2台	渋 川	昭和49年4月
大倉ポンプ場	錦町台1-5	1,020	雨水	φ 700mm×65㎡/分×70PS×1台 φ 1,000mm×130㎡/分×130PS×1台	鯉 川	昭和46年4月
佐藤ポンプ場	佐藤町荒屋102-4	1,283	雨水	φ 800mm×91.8㎡/分×145PS×2台	太平洋	昭和50年4月
原前ポンプ場	東田町二丁目20-3	3,144	雨水	φ 500mm×30.0㎡/分×22kW×2台（ゲート）	渋 川	平成5年4月
江栗ポンプ場	錦町古川76	2,422	雨水	φ 1,350mm×212㎡/分×280PS×3台	鯉 川	昭和51年4月
関田ポンプ場	勿来町関田 北町68-1	525	雨水	φ 1,200×200㎡/分×200PS×1台	太平洋	昭和62年4月
				φ 1,200×190㎡/分×173kW×1台		令和5年8月
根小屋ポンプ場	植田町林内44-1	268	雨水	φ 600×45㎡/分×70PS×2台	—	昭和49年4月
浜川マンホールポ ンプ	勿来町関田南町1-167			φ 100×1.4㎡/分×3.7kw×2台	太平洋	平成4年6月

その他、マンホールポンプ 4 箇所